

令和 3年度 事務事業評価表（ 令和 2年度 の実績評価）

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		動物のれき死体処理				事業区分		担当			
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No.		050803000244	
政策体系	総合計画の施策名	0508		生活環境の保全				所属課		030301	
	政策名	05		快適な暮らしのまちづくり				課長名		生活環境課	
	施策名	08		生活環境の保全				グループ		環境公害対策G	
	手段名	03		③公害防止活動の推進				担当者名			
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
		01	04	01	03	02	00	環境衛生事業			
法令根拠								単年度繰返し (年度～) → 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	<p>①事務事業の概要（事務事業の全体像） 道路、公園、広場その他の公共の場所において、所有者のわからない犬猫等れき死体の収容を行う。</p> <p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 動物れき死体通報受付、れき死体処理（職員、シルバー人材センター委託）</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・現地確認及びれき死体の処理。 ・シルバー職員への処理依頼。	通報等の件数	件	172.00	160.00	172.00	172.00	172.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市民・犬猫等れき死体	処理件数	件	172.00	160.00	172.00	172.00	172.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
衛生上の管理及び県市道の安全確保	解決件数	件	172.00	160.00	172.00	172.00	172.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

				01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)		
投入量	事業費	内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	
			正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人	

02年度事業費 実績（千円）					03年度事業費 予算（千円）						
合 計						0	合 計				

事務事業名	動物のれき死体処理	事務事業No.	50803000244	所属課	生活環境課
<p>(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？</p> <p>本来は、市だけでなく国や県が行う事業であるが迅速に対応できないため市が協力している。 市が収容したれき死体の内犬と猫については1頭当たり約2,000円「動物愛護管理関係事務処理特別交付金」というかたちで茨城県市町村事務処理特別交付金に算入されている。 市ゴミ回収委託車について、回収中に発見した場合は無償で回収をお願いしている。 以前は市民の協力により収容頭数が少なかったが現在は年々増加傾向にある。</p>					
<p>(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？</p> <p>犬、猫だけでなく、ハクビシン・狸などの通報も多い。 公共の施設等の対応を行っているが、「自宅敷地で犬猫が死んでいるので処理してくれ」などの要求がある。</p>					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第2次総合計画の「快適で潤いのある生活環境づくり」に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国や県が迅速に対応できないため市が協力しなければならない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 飼い主のマナー意識がアップすれば、れき死体は減少すると思われる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 快適な住環境で暮らすことを維持するためには、犬猫等のれき死体は一般廃棄物となるので市としては放置できない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・職員が業務内で対応しているので削減の余地はない。 ・休日においても職員が対応する。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 快適な住環境を維持し守るためには必要である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 犬、猫のれき死体については、放し飼い禁止の啓発を行っているため回収頭数は減少している。 しかし、ハクビシン、狸、アライグマなどの増加に伴い、れき死体として回収頭数が増えており、全体の回収頭数はあまり減少していない。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	